

2010年
11月1日
No.104

さざなみ

〒520-0043
大津市中央1丁目5-25
小堀マンション2030号室
さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-522-7868

金融労連近畿地協第5回定期大会 組合の役割 多くの労働者に見えるように

10月16日、金融労連近畿地協第5回定期大会が、大津市びわ湖畔のホテルで開かれ、来賓・代議員・役員など34人が集まりました。さざなみネットからは4人が参加しました。

浦野議長は「この1年、最低賃金・派遣社員の問題など、運動が確実に前進し、労働組合の役割が多くの労働者の目に見えるようになってきている。近畿地協は、組織拡大について一定の役割を果たしてきた。これからも引き続きがんばろう」とあいさつしました。

議案が提案され、全単組・支部の代議員などが発言しました。さざなみネットからは山崎代議員が発言(要旨裏面)しました。採決の結果、全議案とも満場一致で採択されました。

その後、新年度の役員選挙が行われ、次の方々が選任されました。

(議長) 岡野展子〈新〉 (副議長) 阿部正巳〈新〉 浦野弘〈新〉 車谷薫〈再〉 富士野三男〈再〉
(事務局長) 福井悦雄〈再〉 (事務局次長) 伊藤宗孝〈再〉

新役員を代表して、岡野新議長があいさつ(要旨裏面)をし、がんばろう三唱をして大会を閉会しました。



新任の挨拶をする岡野議長



さざなみネット全体会議 「さざなみ」100号発行記念懇親会を開催



金融ユニオン近畿支部滋賀分会(さざなみネット)は、10月21日、組合事務所において、全体会議を開き、次の議題を討議・採択しました。

会議後、「さざなみ」100号発行記念懇親会を開き、お世話になった仲間とともに交流をしました。

議題・2009年度の活動について

- ・2010年度の運動について
- ・2009年度決算・2010年度予算について
- ・役員について
(分会長) 浦谷貞子 (書記長) 山崎幸雄 (他) 省略
- ・上部団体役員派遣について
- ・機関紙「さざなみ」100号発行記念誌について



岩波美智子さん 画

- 議長団選出
- 大会役員選出
- 議事運営・資格審査・選挙管理
- 議長あいさつ
- 来賓あいさつ
- 第1号議案
- 第2号議案
- 第3号議案
- 第4号議案
- 祝電・メッセージ紹介
- 新旧役員あいさつ
- スローガン採択
- 閉会・がんばろう三唱
- 滋賀県労連・滋賀商連・日本共産党・金融労連
- たたかいの総括とすすめ方
- 決算報告・会計監査報告
- 予算(案)提案
- 役員選挙

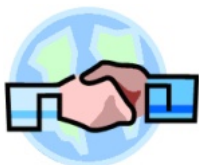


近畿地協第5回定期大会日程

近畿地協定期大会・岡野新議長のあいさつ（要旨）

みんなの一步で 全員参加型の運動を

志は高く持っていますが、相手は大きく、社会への影響力は絶大です。でも、私たちにはたくさんの仲間がいます。みなさんにはそれぞれ得意分野があると思います。その力を十分出せる環境づくりをし、1人の100歩ではなくみんなの1歩、全員参加型の運動を進めていきたいと思っています。働きがいのある、人間らしい仕事の実現、働かされるのではなく、働くという思いを持って、職場内外で問題意識を持ちながら運動を進めていきたいと思っています。



金融労連に求められているものは何なのか、多くのことを考えてきました。金融で働く労働者の役割を果たすため、多くのみなさんの力を結集していただけるよう呼びかけて、あいさつとさせていただきます。

近畿地協定期大会・山崎代議員の発言（要旨） 機関紙が仲間をつなぐ重要な役割に

本当のことを知りたい、相談したい、いざというときには一緒にがんばりたいという仲間が多数います。そういう仲間の組合として、さざなみネットを結成しました。従って多くの仲間の視点に立ってきました。

機関紙「さざなみ」は、組合員だけでなく、多くの仲間が読んで興味を持てる内容、身近な職場の声・写真・水墨画・イラスト・グラフを入れ、文章は短く、わかりやすくしてきました。

機関紙「さざなみ」は2006年8月に発刊し、毎月2回発行し、今年9月1日号が100号になりました。その間、金融労連の機関紙コンクールにおいて4回連続入選しています。

仲間から、60歳の再雇用時の条件や要求、人員減

による仕事の忙しさ、上司とのトラブル、メンタルヘルスのことなど相談があり、話し合ってきました。

機関紙がお互いのつながりとなり、重要な役割を果たしています。

職場でたたかひの灯を次の世代に継承するため、金融労連の仲間、身近な仲間と相談・協力して、引き続き奮闘したいと思っています。



発言をする山崎代議員

滋賀県母親大会 大津市に1020人集う 多彩なテーマで交流

第56回滋賀県母親大会が、10月24日、大津市の仰木の里東小学校で開かれ、1020人が交流しました。さざなみネットから3人が参加しました。

全体会では東京大学教授の小森陽一さんが、「青い空は、青いままで、子どもらに伝えたい」の演題で、子どもらの虐待問題を中心に記念講演をされました。

午後は25の分科会で話し合いがもたれ、子育て、平和、環境など多彩なテーマで交流がもたれました。



「ノルマは全項自達せよ」と言われ、がんばっています。給料はまだ低くお世話されています。組合は小さいけれど、おかしなことはおかしいと、毎月執行委員会を開き、みんなで話し合っています。

ノルマ厳しいが 給料低い
毎月執行委員会 がんばっています



必要のない人間などと言われ、パワハラ・たらい回し転勤のため、人が信用できなくなり、外に出られない、身体が動かず、トイレにも行けないようになりましたが、組合に相談、交渉により職場復帰後1年経ちました。

パワハラ・たらい回し転勤 職場復帰
遅刻・休みなしで、がんばっています

「その年でよく契約できたね」「メガバンクで働いていたのに、仕事ができないダメ人間」と言われ、適性障害になってしまいました。組合の話し合いにより職場復帰し、ならし運転をしました。したが、次の雇用契約は更新しないと断りました。回交などをし、がんばっています。

適用障害 組合のおかげで職場復帰
ならし運転中に、雇用契約更新なし

近畿地協大会発言（一部・要旨）